

# 流鉄とは…

SADABASASHI

## 1. はじめに

私は常磐線沿線に住んでいます。毎日、学校に通うたびにしている鉄道の流鉄。ここを走る車両は全て、元々西武鉄道を走っていた車両です。そんな流鉄を知ってもらうためにこの部誌を書きました。なお、この文章には一部誇張、または不適切な表現がある可能性がございます。この件に関して流鉄を始めとする関係各所へのお問い合わせはご遠慮ください。

## 2. 流鉄とは

流鉄とは千葉県北西部を走る全長 5.7km の流鉄流山線を運行させている会社です。鉄道会社としてだけでなく、不動産業も行っています。鉄道会社がメインとなっています。車両は右のような車両です。前述のように元々は西武鉄道の車両であるので、実際にこの部誌を読んでいる方の中にも乗ったことがある車両かもしれません。



図1 流鉄の車両 (青空号)

路線図は下の図のようになっています。

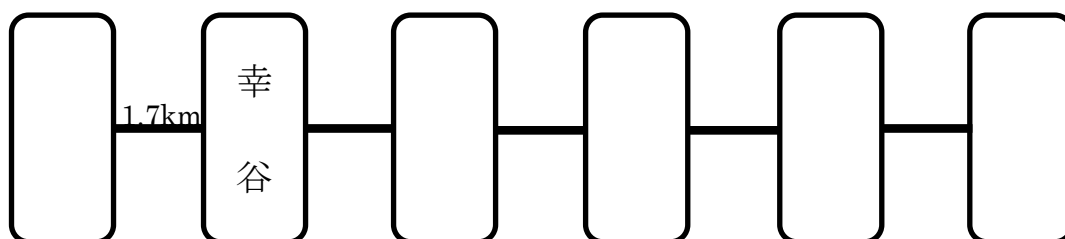


図2 流鉄の路線図

元々は、総武流山電鉄という会社名でしたが、2008年に現在の流鉄に会社名が変更になりました。1916年3月14日に開業しています。早稲田大学高等学院の最寄り駅の上石神井駅の開業が1927年4月16日なので、それよりも前から運行しているということです。

### 3. 流鉄の車両

流鉄では現在 4 つの車両(編成)が走っています。全て 2 両編成です。

#### ① なの花(2000 系)

1997 年 3 月に流鉄で走り始めました。

現在の車両番号はクモハ 2005 とクモハ 2006 となっています。

元々は西武鉄道 701 系のモハ 757 とモハ 758 で 1966 年に西武所沢車両工場で製作されました。

千葉県の花、菜の花から名前がとられています。

車体の色もなの花をイメージして塗装され、黄色に塗装された中に黄緑のラインが引かれています。

#### ② 流馬(5000 系)

2010 年 1 月に流鉄で走り始めました。

現在の車両番号はクモハ 5001 とクモハ 5101 になっています。

元々は西武新 101 系のクモハ 273 とクモハ 274 で 1987 年に西武所沢車両工場で作られました。

西武鉄道時代は小手指車両基地に所属し、西武池袋線系統をメインとして走っていました。

流山と馬橋を結ぶことから、その頭文字をとって「流馬」となっています。

水色に塗装された中に白のラインが引かれています。

#### ③ 流星(5000 系)

2011 年 3 月に流鉄で走り始めました。

現在の車両番号はクモハ 5002 とクモハ 5102 になっています。

元々は西武新 101 系のクモハ 275 とクモハ 276 で 1987 年に西武所沢車両工場で作られました。

西武鉄道時代は小手指車両基地に所属し、西武池袋線系統をメインとして走っていました。

オレンジ色に塗装された中に白のラインが引かれています。

#### ④ あかぎ(5000 系)

2012 年 3 月に流鉄で走り始めました。

現在の車両番号はクモハ 5003 とクモハ 5103 になっています。

元々は西武新 101 系のクモハ 277 とクモハ 278 で 1987 年に西武所沢車両工場で作られました。

西武鉄道時代は小手指車両基地に所属し、西武池袋線系統をメインとして走っていました。

流山の地名は昔、洪水で赤城山の土がこの地に流れてきたということで「流山」という地名になったと言われています。また、平和台駅は元々赤城駅でした。そして、平和台駅の近くに赤城神社という神社があります。そこから「あかぎ」という名前がとられたということです。

赤色に塗装された中に白のラインが引かれています。



なの花

流星





あかぎ

流馬

#### 4. 流鉄の現状

流鉄は 1993 年をピークにし、少子高齢化の影響もあり、1993 年度をピークにして収益と乗車人数ともに減少が続いています。

さらに、それに追い打ちをかけたのが 2005 年のつくばエクスプレスの開業です。右の図のように流鉄は鱒ヶ崎駅と流山駅がそれぞれつくばエクスプレスの南流山駅と流山セントラルパーク駅が近接するようになりました。これにより、開業前は流鉄を利用して馬橋駅まで出たうえで、常磐線に乗り換えて東京に出ていた人がつくばエクスプレスを利用するようになってしまいました。特に流山駅では駅利用客がバスで南流山駅に出るようになってしまい、利用客が半減してしまいました。これに関連して、流鉄では全列車 2 両編成化とワンマン化が行われています。



#### 5. 流鉄の今後

このままでは流鉄はつくばエクスプレスに客を奪われた状態で現状以上の厳しい経営になってしまう可能性があります。

そのためにも、行政と手を組んで都市計画を行うべきであると思います。また、日

本の鉄道会社で唯一ホームページが無いので、東京に近い単線のローカル線という魅力をもっと発信していくべきであると思います。

## 6. 参考文献

日本経済新聞 2006年2月26日

関東運輸局 総武流山電鉄株式会社に対する業務監査の結果